



校長挨拶

校長 鈴木 恭子



本校は、昭和 39 年全国で初めての看護教育を行う高等学校として創立し、今年度 61 年目を迎えました。

春には満開の桜が咲き、新年度を迎えた生徒たちを優しく迎えています。5 月には正門のあたりのつつじが美しく咲き、しばらくすると中庭にある噴水の水連が白く清らかな花を咲かせます。静かで落ち着いた環境の中、生徒たちは楽しく生き生きと学校生活を送っています。

本校は全日制学年制で、各学年看護科 2 クラス福祉科 2 クラスの計 12 クラス、生徒数約 450 名の進学型専門高校です。卒業後は本校の学びをアドバンテージに大学・短大・専門学校など上級学校に進学します。本校は「f高」の愛称で親しまれており、卒業生は8,000名を超え、看護・福祉の様々な分野で神奈川県の人材として活躍しています。

夢をひろげる 夢に近づく

夢とは自分の思い描く理想であり、目標です。3 年間の高校生活は自己の生き方・在り方を考えるための大切な時間です。これからの社会は Society5.0。「仮想空間と現実空間の高度な融合—人間中心の社会」となっていくとされています。

私は、「一人ひとりが幸せを感じ、その人らしく生きることができるよう思いやり寄り添い支援していくこと」をヒューマン・サービスととらえています。本校では、「看護の心・福祉の心・奉仕の心」の 3 つの心を育む教育を行っています。日々の学び・生活、そして行事・部活動などの生徒主体の活動を通して 3 つの心を育みます。

「夢を広げる、夢に近づく」。自己の夢を持ち、仲間と夢を語り、夢をひろげる。生徒の皆さんが 3 年間充実した学校生活を送ることを願います。

伝統を継承し、未来にはばたき進化する

令和 7 年度に看護科は、本校の伝統を継承し看護・医療・保健分野への進路意識を高める教育を行う特色ある普通科として学科改編します。

また、福祉科は存続します。専門学科としての日々の授業や校内外の実習を通して知識と技能を身につけます。進学型専門学科としてさらに学びを高めていきます。

本校の生徒の皆さんは、何事にも真摯に取り組み、志を高く持ちともに高めあい、他者への思いやりにあふれています。そんな生徒の皆さんの思いがあふれる本校の校風を大切にして、教育活動が充実するよう尽力してまいります。

本校への温かいご支援をこれからもどうぞよろしくお願いいたします。

New School New Me!